

# 平成15年度北海道入札監視委員会（臨時会）審議概要

開催日及び場所 平成15年12月19日（金） ポールスター札幌 4階しゃくなげの間

## 委員

伊藤 隆道（弁護士）  
笠原 篤（北海道工業大学教授）  
梶井 祥子（北海道武蔵女子短期大学助教授）  
高井 哲彦（北海道大学大学院助教授）  
花岡 英司（公認会計士、税理士）

## 議事等

### 報告事項

- ・第2回北海道入札監視委員会の審議での課題等について

### ランダム・カット式指名選考のあり方についての審議

#### （主な意見等）

- ・ランダム・カットは発注者側の恣意性排除のシンボルとして、メッセージ性は強かったことから、一定期間の役割は果たしてきたといえる。しかし、今現在、実質的な効果という点では、あまり機能していないのではないか。
- ・シンボリックな意味はあったが、効果はあまりなかったと感じる。
- ・発注者側の恣意性が排除されればランダム・カットはもういらぬのではないか。
- ・ランダム・カットを継続すべきという積極的な理由は見出し難い。
- ・ランダム・カットの見直しは、現行の入札制度に問題がないという判断を意味するものではない。
- ・廃止してもいいが、現行の入札制度の問題点を見直すなど、付帯条件として付けるべき。
- ・公共工事が縮小していく中で、技術力の優れている企業が残る方向性が必要である。
- ・付帯条件について、詰めた議論をする必要がある。

### 次回の開催について

- ・次回、2月の委員会を再度ランダム・カットの審議のための委員会とし、定例会は3月に先送りする。